

図書便り

富川高校図書委員会

2016年7月22日

第2号（夏休みですね）

今回は野澤からも図書室にある本の中から何冊かを紹介します。最近は高校生のための自己啓発系の本がたくさん出ていて、富高図書室にも入れています。このジャンルの本は今まであまり本を読んだことのない人にも読みやすい本ですよ。また、最初のページから最後のページまでしっかり読まなくても、目次を見て気になった箇所や、自分にピタっとくる部分だけを読んでもいいのです。

ちょっと元気がない時に、もくじを眺めるだけでもなんだか元気になる本もあります。だまされたと思って手に取って開いてみてください！そんな本たちの中から、ほんの数冊だけタイトルやもくじの一部を紹介しますね。

I 「大人になる前に身につけてほしいこと」

II 「10代からの夢をかなえる感性の磨き方」

III 「中高時代に読む本⑤」

～君よ自らの自立のために学べ～

第一章、自分を育てるのは自分

第二章、それでも人と会おうよ

第三章、君に成功を送る

第四章、本気で生きよう！何かが変わる

第五章、命の輝き感じるかい？

IV 「高校時代に考えておく50のこと」

- 第一章 ・高校時代は、悩んで、迷って、失敗しておこう。
 - ・人生のシナリオを作っていくのは自分自身。
 - ・自分の道を選ぶ力。
- 第二章 ・素晴らしいあなたをもっと大事にしよう。
 - ・人と比べて一喜一憂しない。
 - ・まずは自分を大切にしよう。
 - ・セックスの前に「責任とれる？」
- 第三章 ・眠さに負けず、未来への一歩を踏み出そう。
 - ・本は世界観を広げてくれる。
 - ・苦労や努力から逃げると、追いかけてくる。
- 第四章 ・心を柔らかくして、幸せをつかもう。
- 第五章 ・視野を広げて、賢くなろう。
 - ・高校時代の夢は、人生のベース。

他にも面白い本がたくさんあるので、夏休みの読書用に図書室に借りに来てくださいね♡



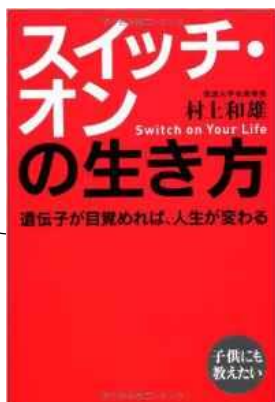
図書館員のススメの本

『スイッチ・オンの生き方』

私は、著者 筑波大学名誉教授 村上和雄の「スイッチ・オンの生き方 遺伝子が目覚めれば、人生が変わる」を紹介します。人には実に98%もの眠ったままの遺伝子が存在するといいます。この本には、村上和雄の50年間の遺伝子研究についてのことが書いてあります。

この本を読み進めていくと、心臓が動くのも、消化や新陳代謝がおこなわれるのも、基本的にはすべての遺伝子の指令によるものだということを知り、遺伝子のすごさをこの本で学びました。

特に印象に残っているのは100Pの「伸びる人の三つの条件」です。「第一に、物事に熱中できる人。第二に、持続性のある人。第三に、常識に縛られず、自由な発想を持つ人。」という部分がとても心に響きました。



本の内容は全然難しくないのに、ぜひ読んでみてほしいと思います。遺伝子が目覚めれば人生が変わりますよ！ (3 B 立花 翔星)



『スパイラル～推理の絆～ソードマスターの犯罪』

私のオススメする本は城平京の『スパイラル～推理の絆～ソードマスターの犯罪』です。ある日突然、刑事であり主人公の兄が謎の失踪を遂げてしまってから2年後のある日、とある殺人事件が起きます。その犯人として、最強と言われている有名剣士が疑われます。主人公は、同じ部の先輩と事件を解決しようとします。しかし、最強と言われる有名剣士と対決することに…。

推理小説が好きな人にオススメです。誰が犯人か、どうやって犯行を実行したのかなど少しハラハラする場面もあるので、ぜひ読んでみてください。

2 A 草島 碧海



皆さん本読んでますか！

たくさん読んで、頭も心も癒しましょう！

(#^, ^#)